

事務事業名 筑紫野市子ども会育成会連絡協議会補助事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：604

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-04-00
基本事業：	03	青少年指導者の確保、育成	担当部	教育部
基本事業の成果指標	ボランティアの活用件数（派遣件数のうち少年に関わるものの件数） ボランティア活動者数（延べ活動者数のうち青少年に関わるものの人数） 子どもたちが主体的に企画・運営した事業を実施した子ども会の割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
筑紫野市子ども会育成会連絡協議会			・子どもたちを取り巻く環境の変化から、子ども会活動への協力と理解に厳しさが増すなか、地域の子ども会が果たす役割はますます重要となっている。このような中、「子どもの手による子ども会活動」を目指して活動を続けている「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。 ・活動内容：総会、指導者研修会、子ども会あそび広場、子ども会サミット、市人権同和啓発機関団体研修会、ちくしのカルタ大会、新子ども会リーダーズクール、校区別現新役員懇談会、事務担当者説明会。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
子ども会加入率		%	42.5	43.2	50	50			60
子ども会加入率が50%を超えている行政区の割合		%	82.3	87.5	80	80			70
5. コスト									
事業費		計	千円	495	495	495	495		
		国	千円	0		0	0		
		県	千円	0		0	0		
		地方債	千円	0		0	0		
		その他	千円	0		0	0		
一般	千円	495	495	495	495				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,295	1,304	1,302	495			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	子ども会加入率の低下については、筑紫野市子ども会育成会連絡協議会（以下、「市子連」という。）を休会または脱退する子ども会の増加が考えられる。市子連での活動に負担感を感じているようなので、団体（市子連）に、今後の活動内容や役割等を見直していただくよう働きかけて、市子連への加入を促進していきたい。								
どちらかといえばあがっている	子ども会加入率が50%を超えている行政区の割合が増加している要因として、「全員子ども会制」を導入した行政区が増加したことにあると考えられる。								
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性		維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
市内の子ども会の育成活動の推進と育成及び指導者の資質の向上に努め、もって子ども会の健全育成に資することを目的に設立された「筑紫野市子ども会育成会連絡協議会」を支援する。			共働き家庭の増加等の理由による加入団体の減少がみられたが、全員子ども会制が増加したことにより加入率増となっている。						